

ひかり



| | | | |
|-----|-----------------------------|----|-----------------------------|
| 主題 | 遊ぼう・友だちと共に | 目標 | 友だちと一緒に遊び、楽しさや難しさを経験する |
| 聖句 | 霊の思いは命と平和 ロマ8章6節 | | 讃美歌 ♪どんどこどんどこ ♪やさしいめが |
| 月の歌 | とんぼのめがね・うんどうかい・おじいちゃまおばあちゃま | | |

『霊の思いは命と平和』（ローマの信徒への手紙第8章6節）

今年の8月は、気分的にもたいへんな夏でした。「オリンピック」、「パラリンピック」、「コロナ感染の拡大」、「全国的な長い大雨による災害」、「終戦記念日」、「お盆」など、落ち着いた日々が少なかったのではないのでしょうか。特に、コロナ予防による三密の回避、不急不要の自粛、人と接触する時間の制約など、叫ばれました。ある種、人為的に人間関係の喪失時代に入れられたのではないかと思うくらいです。早くコロナの感染が減るといいなと思います。幾つかの心配が残りますが、9月に入り、これからは気候も良い季節になります。子どもたちも園生活にも慣れ、秋に計画されている多くの行事が実行されることを祈るばかりです。本来は、行事を通して子どもたちの魂、心が一番成長する時期です。特に自らの力、お互いに支え合うことを求められ、覚える行事が多く計画されています。『共に、一緒にそして、互いに愛をもって』が求められます。自分にだけ目を向け、興味を持つのではなく、お友だちにも目を向け、いたわり合うことを必要になります。その中で、それぞれの個性や能力が発揮され、心豊かな、共感しあい、助け合い、支え合う連帯感が生まれることでしょうか。子どもたち同士の絆が深く強くなる時期です。これらすべては「命にかかわり平和」の源になるでしょう。私たち大人も子どもたちに負けないように、行事を通して、園の働きを通して、他の子どもたちや保護者同士で、共に心豊かに成長できることを感謝したいものです。「愛、友情、仲間」という、固い絆で結ばれた絆をとおして、お互いに助け合い、協力し合うことを、コロナ禍にあっても子どもたちに、学んでほしいと願っています。

牧師 濱田 道明



9月の行事予定

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------|-----------|-----------|------------|------------|----|
| | | 1 交通訓練 | 2 礼拝 | 3 体育教室 | 4 |
| 6 | 7 身体測定 | 8 | 9 礼拝 | 10 | 11 |
| 13 | 14 | 15 誕生会 | 16 礼拝 | 17 体育教室 | 18 |
| 20 敬老の日 | 21 | 22 | 23 秋分の日 | 24 | 25 |
| 27 | 28 | 29 | 30 礼拝 | | |